

第36回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成31年4月3日（水）10:00～11:00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：日本のコンテンツ（映像）関連ビジネスが世界で稼ぐための提案
- 招へい者：マシ・オカ 俳優/プロデューサー/JETRO アドバイザー
- 出席者：平井国務大臣、住田知財事務局長、吉弘企画官（知財）、八山参事官（IT）、柴崎参事官（IT）、石井企画官（科技）、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官ほか

2. 概要

- 日本のコンテンツが優れていても、存在することを知らなければ、視聴者はそのコンテンツに巡り会えない。日本では奥ゆかしさが美德とされるが、世界ではコミュニケーション能力やマーケティング能力が重要。
- アメリカでは、リスクを取ることを称賛し、仮に失敗しても、失敗から学ぶ文化や、失敗から得た経験を元に今度こそリターンを得ようという発想がある。もちろんアメリカでもデュエティリジェンスやビジネスモデルの精査を行うが、エグジットがあると分かれば挑戦することが多い。
- アメリカでは動画配信はサブスクリプションモデルに急速に移行しつつある。他方、だからといって、映画館が無くなる訳ではない。ブロックバスターやホラー映画は、映画館で見たいという需要がある。
- インフルエンサーの活用は重要。インフルエンサーを日本に招聘して日本の良さをアピールする手法が有効ではないか。他にも、インターネット上のニュースで取り上げられて人気スポットになるケースも多い。
- インフルエンサーは各国にいるので、彼らを集めたサミットのようなものができる面白いかもしれない。
- 映像作品の撮影ロケーション誘致により、しっかりした発信をすることも重要。せっかく日本を舞台にした映画であるにもかかわらず、日本でほとんど撮影されず他の国で撮影されてしまい、日本の観光地等を発信する機会を逸してしまう例が多い。
- （日本でロケ誘致インセンティブの実証事業が予算措置されたことについて、）まだまだ規模が小さいものの、ついに作ってくれたかという思い。日本はこのことをもっと宣伝すべき。ただ、海外ではもっと遥かに規模が大きいインセンティブがある。
- 日本は素晴らしい景観を持っているが、人々が興味を持つにはメディアが紹介することが必要。映画を通じて日本の良い第一印象を広めることが重要。
- ライブイベント、スポーツコンテンツ等は、生放送であることが重要なので、残っている。ライブ性・エンタメ性のあるコンテンツの価値が高まっており、eスポーツにも可能性がある。

- 日本を世界に発信するには、①撮影ロケーション誘致のインセンティブと②インフルエンサーの活用がカギだ。①については、税インセンティブを与えるだけの見返りがロケ地に必ずあるのだから、全くリスクが無い。
- アメリカでは撮影のための交通整理等のために警察にお金を出してお願いするのはよくあること。日本でもそうした方法が広まるとやりやすい。映画撮影のためにももっと交通整理に協力してほしい。
- 日本の発信力の強化に協力したい。力になれることがあったら言ってほしい。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)